

「資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応」に関する 開示企業一覧表の見直しについて

株式会社東京証券取引所 上場部

2024年9月27日



- ◆ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する開示企業一覧表について、積極的に取り組む上場会社をより支援する観点から、以下3点の見直しを実施します。

① 【アップデート日付】の明示

- 初回の開示以降、取組み・開示のアップデートを既に行っている企業/今後行う企業 (→3ページ)

② 【機関投資家からのコンタクトを希望】する企業の明示

- 開示したものの機関投資家からのコンタクトを得られず、より活発な対話を求める企業 (→4ページ)

③ 【検討中】の状況説明と掲載期間の設定

- 現在【検討中】の企業及び今後新たに【検討中】の開示を行う企業 (→6ページ)

⇒ 新フォーマットの運用は、**2025年1月15日公表の一覧表（2024年12月末までに提出されたコーポレート・ガバナンスに関する報告書（CG報告書）の状況に基づいて集計）から開始**いたします。

（参考）新フォーマットの掲載イメージ

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する開示企業一覧										2024/12/31 時点	
※ 具体的な開示内容については、各社のコーポレート・ガバナンスに関する報告書及び同報告書に開示先として記載された各種開示書類をご参照ください。コーポレート・ガバナンスに関する報告書の閲覧方法については、本資料「（参考）CG報告書閲覧方法」シートをご覧ください。											
業種コード	業種	市場区分	証券コード	銘柄名	開示状況		開示内容のアップデート日	機関投資家からのコンタクト		英文開示	
					要請に基づく開示状況	前月からの開示状況の変更		より活発なコンタクトを希望	コンタクト先		
****	*****	プライム	****	*****	開示済		2024/12/30				
****	*****	プライム	****	*****	開示済	未掲載→開示済		○	XX部	有	
****	*****	スタンダード	****	*****	開示済		2024/6/10	○	XX部		
****	*****	スタンダード	****	****	検討中						

※ 一覧表のレイアウト等は、変更となる可能性がありますのでご注意ください。

概要

- ◆ 今般の要請では、**毎年（年に1回以上）**、進捗状況を分析のうえ、**開示のアップデート**をお願いしています。
- ◆ 開示のアップデートを行った企業を投資者へ周知するため、**アップデート日付を開示企業一覧表において明示**いたします。

対応のお願い

- ◆ 初回の取組みの開示を行った後、**開示のアップデートを行った場合は、CG報告書において、従来のキーワードに続けて、「【アップデート日付：YYYY/MM/DD】」**のキーワードの記載をお願いします。

（参考）CG報告書への記載イメージ

Iコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

（前略）

【資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応】【英文開示有り】【アップデート日付：2024/10/01】

.....アップデートした開示内容を記載.....

2024年10月1日にCG報告書をアップデートした場合、「【アップデート日付：2024/10/01】」とご記載ください。

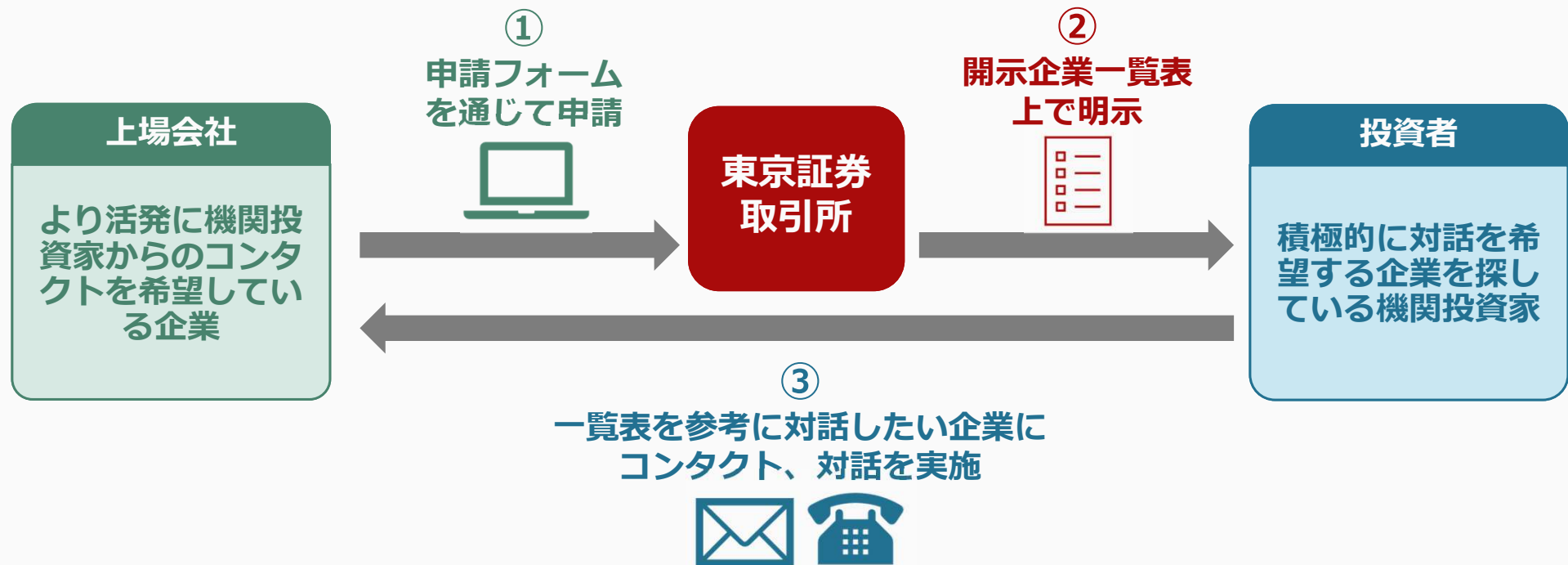
※ キーワードを機械的に抽出し集計するため、キーワードが正しく記載されていない場合は、一覧表に反映されません。

- ※ CG報告書において他の書類を参照し、当該書類を更新している場合でも、CG報告書をアップデートのうえ、アップデートした日付をご記載ください。
 - ※ 初回の取組みの開示（【未開示】または【検討中】から、初めて【開示済】へ移行）の場合は、上記の「アップデート」には該当せず、キーワードの記載は不要です。
- ⇒ **2024年12月末までに上記キーワードを記載いただいた場合、2025年1月15日公表の一覧表から掲載**されます。2025年1月以降に記載いただいた場合は、翌月公表の一覧表から掲載されます。
- **本通知（2024年9月）時点で既に取組み・開示のアップデートを行っている企業の皆様**も、一覧表への掲載のため、**2024年12月末までに、上記キーワードの記載**をお願いします。

概要

- ◆ 上場会社から、積極的に取組み・開示を行っているものの、対話の相手方となる機関投資家が見つからないという声が挙げられているとともに、特にアクティブの機関投資家から、積極的に対話を希望する企業を見分けることが難しい、そうした企業と対話をしたいという声が寄せられています。
- ◆ そこで、上記のようなより活発に機関投資家からコンタクトを求める企業を一覧表上で明示することとします。

（参考）一覧表を用いた企業と投資者のコミュニケーション促進のイメージ



対応のお願い

対象企業

- ◆ 積極的に取組み・開示を行っているものの、現状では対話の相手方が見つからず、より活発に機関投資家からコンタクトを求める企業を対象とします。
- ※ 既に機関投資家とのコンタクトを十分に得られている企業は、**申請不要**です。
- ※ 申請にあたっては、**機関投資家からのコンタクトに応じる体制を確保していただきますようお願い**します。なお、東証では、企業の皆様のIRをサポートするため、上場会社サポートグループを設置し、オンラインセミナーや個別訪問を行っておりますので、ぜひご活用ください。（→詳細は7ページ以降）

申請方法

- ◆ **一覧表の掲載内容について、申請フォームからご申請ください。**
掲載内容：**✓コンタクト先**（機関投資家との対話を担当する部署・チームなど）※ 担当者氏名の記載は任意
✓上記の英文（任意）
⇒ 申請フォームのURLは、上場会社通知資料（2024年9月27日付）に掲載しております。
- ※ **英文でのご回答内容は、英語版の一覧表上に掲載**します。（英文でのご回答が無い場合、コンタクト先は空欄）

スケジュール

- ◆ **2024年12月末までにご申請いただいた場合、2025年1月15日公表の一覧表から反映**されます。
- ◆ 2025年1月以降にご回答いただいた場合は、翌月公表の一覧表から反映されます。

その他

- ◆ 一覧表の掲載内容について更新を行う場合には、改めて申請フォームからご申請ください。
- ◆ 機関投資家からコンタクトを受けた際には、真摯なご対応をお願いします。

概要

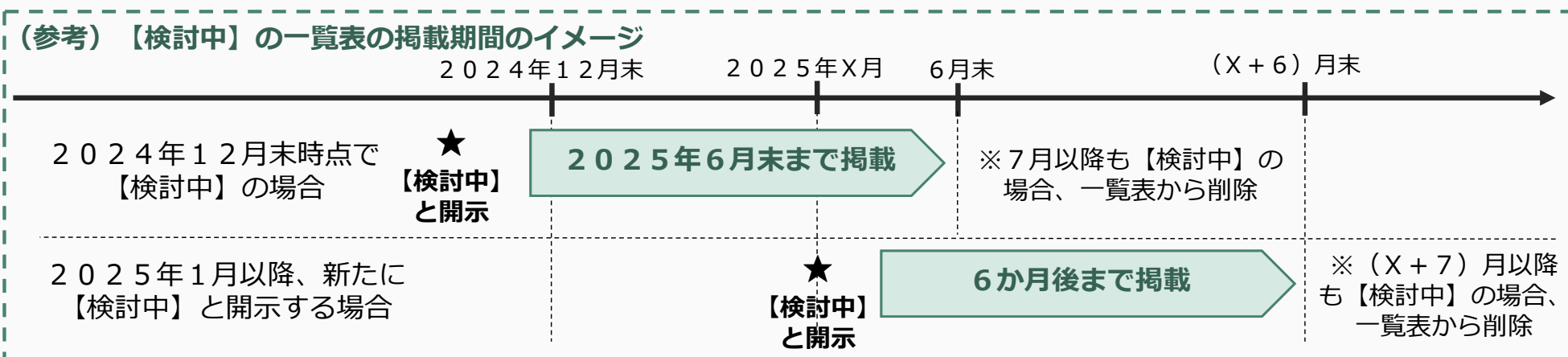
- ◆ 投資者からは、【検討中】が長期に渡り、具体的な取組み等の開示時期の目途が分からないといった指摘が寄せられております。
- ◆ そこで、【検討中】と開示している企業の皆様に、検討プロセスや開示見込み時期の記載を改めてお願いするとともに、【検討中】の一覧表への掲載期間を見直します。

対応のお願い

- ◆ 【検討中】と開示している場合には、**検討プロセスや開示見込み時期をCG報告書にご記載ください。**
※ 特に対応時期などは設けませんので、速やかにCG報告書の更新をお願いいたします。
- ◆ 一覧表における【検討中】の掲載について、積極的な検討をお願いしていく観点から、以下のとおり**掲載期間を6か月に設定**いたします。

開示状況	【検討中】の一覧表の掲載期間
2024年12月末時点で【検討中】の場合	2025年6月末まで
2025年1月以降、新たに【検討中】と開示する場合	【検討中】と開示してから6か月後まで

⇒ 上記期間の経過後は、【検討中】のキーワードが記載されていても、一覧表には掲載されません。



- 中長期的な企業価値向上に向けた様々な取組みを要請する一方、各上場会社に寄り添い、その取組みをサポートする専任グループを設置（2024年1月）

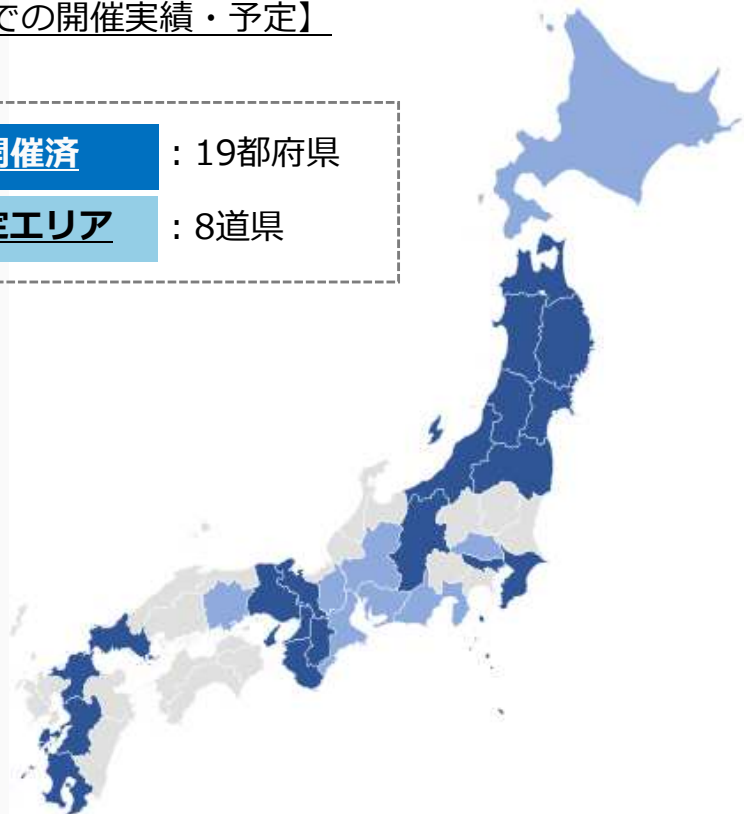
上場会社経営者に対するフォロー

「東証からの要請」に至った背景や他の各種取組みの趣旨について、全国の上場会社経営者に対して、東証社長からご説明差し上げるプログラムを展開

【現時点での開催実績・予定】

開催済 : 19都府県

予定エリア : 8道県



実務担当者へのサポート

- 国内外機関投資家の考え方や、他の上場会社の対応例などをご紹介・説明
- 各社が抱える課題についての相談受付

【主な施策】

個別訪問の実施

現在までに49社へ直接訪問
(うち5社が関東圏外への訪問)

各種イベント・セミナーでの登壇

延べ約1,700名の担当者が参加

- 上場会社と投資者との建設的な対話促進

➡ 「IRスキルの向上」と「対話機会の創出」に向けた施策を展開

IRスキルの向上

- スキルアップコンテンツの提供（オンライン）

- **IR活動におけるポイントや留意事項を学ぶ機会を提供**
（いずれもいつでも誰でも視聴可能）

IRの基本（説明内容、留意事項、対話相手の理解）

機関投資家が上場会社に求めるIRの理解

英文開示の拡充・迅速化に向けたポイント

海外IRの心構え

- IRにおける課題解決の場の提供

- 各社が抱えるIR活動の課題・悩みを、有識者に直接相談できる「IR対話会」を開催
- 新規上場会社向けワークショップの開催（計画中）

- 他社事例の取組み紹介

- IR活動のポイントや投資家開拓方法などについて、IR活動に定評のある企業に対するインタビュー記事を配信
<https://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/ir-interview/index.html>

機関投資家との接点の創出

- 機関投資家との対話機会の創出（主にプライム・スタンダード向け）

- 機関投資家との双方向のコミュニケーションが可能な1on1やスモールミーティング形式での対話機会を随時提供

- 機関投資家に対する上場会社の魅力の訴求（グロース向け）

- グロース市場上場会社の機関投資家との対話機会が限定的
⇒ グロース市場上場会社の魅力を伝えるショート動画集の配信を開始。

（東証IRムービースクエア内）

<https://www.jpx.co.jp/listing/ir-clips/ir-movie/index.html>

【お問い合わせ先】 上場部 上場会社サポートG jojosupport@jpx.co.jp

- ◆ 上場会社におけるIRスキル向上に向けて、オンラインセミナーコンテンツの配信を開始。
- ◆ 3月に配信を開始した第1回・第2回コンテンツへの申込社数は、全上場会社の約2割。

(第1回)



IRに関する基本的な知識や留意事項等を解説

(第2回)



機関投資家の目線から、上場会社に期待されるIR活動について解説

(第3回)



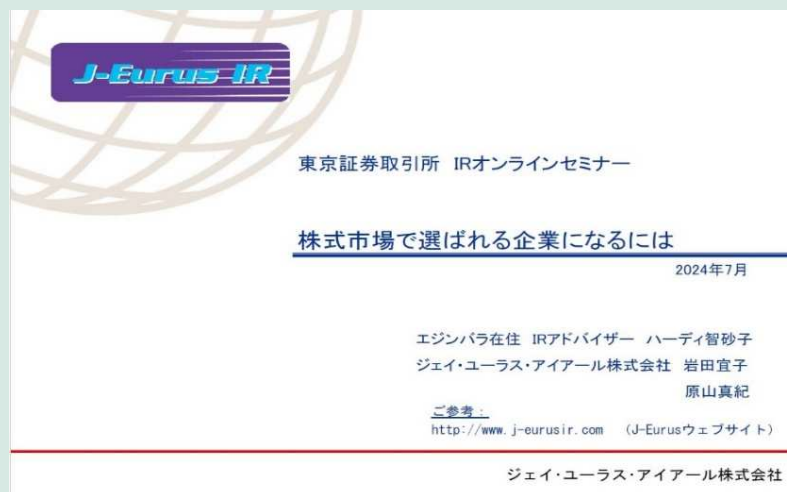
英文開示の拡充に向けた実務上の留意点等を解説

(第4回)



機関投資家の目線から、上場会社に期待されるIR活動について解説

(第5回)



海外IRに関する心構え等を解説

(第6回)



海外投資家に提供するIR情報のポイント等を解説